

【第1部】基礎編 (Q1～Q20)

- Q1. 答え：副助詞「だに」(類推) 解説：「光さえ見えない」。最小限のものすら見えない＝完全な暗闇。
- Q2. 答え：副助詞「すら」(類推) 解説：「神でさえ恐れ敬う」。神すら→人間ならなおさら。
- Q3. 答え：副助詞「さへ」(添加) 解説：「雨に加えて、風までも吹く」。
- Q4. 答え：副助詞「だに」(類推) 解説：「命さえ惜しくない」。最も大事なもの＝命を例に。
- Q5. 答え：副助詞「すら」(類推) 解説：「心ある人でさえ知らない」。
- Q6. 答え：副助詞「さへ」(添加) 解説：「月が明けて、星までも出る」。
- Q7. 答え：副助詞「だに」(類推) 解説：「一夜さえ眠れない」。
- Q8. 答え：副助詞「すら」(類推) 解説：「親でさえ子を捨てる」。
- Q9. 答え：副助詞「さへ」(添加) 解説：「花が散って、葉までも落ちる」。
- Q10. 答え：副助詞「だに」(最小限) 解説：「ひと言さえ告げない」。
- Q11. 答え：副助詞「すら」(類推) 解説：「仏でさえ迷う」。
- Q12. 答え：副助詞「さへ」(添加) 解説：「寒くて、雪までも降る」。
- Q13. 答え：副助詞「だに」(願望・最小限) 解説：「せめて一度だけでも会いたいなあ」。下に願望表現「なまし」あり。
- Q14. 答え：副助詞「すら」(類推) 解説：「鳥でさえ鳴かない」。
- Q15. 答え：副助詞「さへ」(添加) 解説：「嵐の音が、地までも揺らがす」。
- Q16. 答え：副助詞「だに」(類推) 解説：「私でさえ知らないので、誰が知ろうか」。
- Q17. 答え：副助詞「すら」(類推) 解説：「君でさえ心が通わない」。
- Q18. 答え：副助詞「さへ」(添加) 解説：「病に加えて、心までも痛む」。
- Q19. 答え：副助詞「だに」(最小限) 解説：「ひと滴さえ雨が降らない」。
- Q20. 答え：副助詞「さへ」(添加) 解説：「風が吹いて、霜までも置く」。

【第2部】標準編 (Q21～Q50)

- Q21. 答え：副助詞「だに」(最小限の願望) 解説：「せめて夢にだけでも見えてほしい」。下に願望「なむ」あり。
- Q22. 答え：副助詞「すら」(類推) 解説：「賢人でさえ過ちを犯す」。
- Q23. 答え：副助詞「さへ」(添加) 解説：「雨が降って、雷までも鳴る」。
- Q24. 答え：副助詞「だに」(類推) 解説：「子でさえ親を顧みない」。
- Q25. 答え：副助詞「だに」(最小限・願望) 解説：「せめて一度だけでもお目にかかりたい」。下に願望「ばや」。
- Q26. 答え：副助詞「すら」(類推) 解説：「神でさえ助けない」。
- Q27. 答え：副助詞「さへ」(添加) 解説：「(人だけでなく) 草木までも枯れた」。
- Q28. 答え：副助詞「だに」(類推) 解説：「文字さえ読めない」。
- Q29. 答え：副助詞「すら」(類推) 解説：「風のでさえ聞こえない」。

- Q30. 答え：副助詞「さへ」（添加） 解説：「雨に風までも加わって」。
- Q31. 答え：副助詞「だに」（類推） 解説：「自分の身さえ持て余す」。
- Q32. 答え：副助詞「すら」（類推） 解説：「めったにいない友でさえ離れていった」。
- Q33. 答え：副助詞「さへ」（添加） 解説：「(外的混乱に加えて) 心までも乱れた」。
- Q34. 答え：副助詞「だに」（最小限） 解説：「ほんのしばらくさえ心安らかでない」。
- Q35. 答え：副助詞「すら」（類推） 解説：「鬼でさえ恐れる」。
- Q36. 答え：副助詞「さへ」（添加） 解説：「春風が香りまでも運んでくる」。
- Q37. 答え：副助詞「だに」（最小限） 解説：「ひと筆さえ書かない」。
- Q38. 答え：副助詞「すら」（類推） 解説：「帝でさえ心を動かす」。
- Q39. 答え：副助詞「さへ」（添加） 解説：「暮らしが果てて、命までも惜しくない」。
- Q40. 答え：副助詞「だに」（最小限） 解説：「影さえ残らない」。
- Q41. 答え：副助詞「すら」（類推） 解説：「仏でさえ助けてくれない」。
- Q42. 答え：副助詞「さへ」（添加） 解説：「雪が降って、霰までも散る」。
- Q43. 答え：副助詞「だに」（最小限） 解説：「三日さえ待たない」。
- Q44. 答え：副助詞「すら」（類推） 解説：「忘れにけり」＝完了「ぬ」連用＋過去「けり」終止で完了が明確。「古い友でさえ（私を）忘れてしまった」。
- Q45. 答え：副助詞「さへ」（添加） 解説：「心が乱れ、目までも眩む」。
- Q46. 答え：副助詞「だに」（最小限） 解説：「庵の戸さえ閉じない」。
- Q47. 答え：副助詞「すら」（類推） 解説：「帝の御心でさえ動く」。
- Q48. 答え：副助詞「さへ」（添加） 解説：「旅の疲れに、心までも疲れる」。
- Q49. 答え：副助詞「だに」（最小限・願望） 解説：「せめて言葉だけでも残したい」。下に願望「ばや」。
- Q50. 答え：副助詞「さへ」（添加） 解説：「涙が涸れ、声までも涸れた」。

【第3部】応用編（Q51～Q80）

- Q51. 答え：副助詞「だに」（類推） 解説：「私でさえこう思う、まして他人は（なおさらだ）」。「だに～まして」の連動構文。
- Q52. 答え：副助詞「すら」（類推） 解説：「鬼神でさえ心があろうか（ないだろう）」。
- Q53. 答え：副助詞「さへ」（添加） 解説：「花が散って、葉までも色を変える」。
- Q54. 答え：副助詞「だに」（類推） 解説：「雀の子でさえ羽ばたく」。
- Q55. 答え：副助詞「すら」（類推） 解説：「賢明な帝でさえ迷う」。
- Q56. 答え：副助詞「さへ」（添加） 解説：「月が隠れ、星までも見えない」。
- Q57. 答え：副助詞「だに」（最小限・願望） 解説：「せめて一夜だけでも会いたい」。下に願望「ばや」あり。
- Q58. 答え：副助詞「すら」（類推） 解説：「神仏でさえかなわない」。
- Q59. 答え：副助詞「さへ」（添加） 解説：「涙で袖までも朽ちた」。
- Q60. 答え：副助詞「だに」（最小限） 解説：「名前さえ告げずに去ってしまった」。

- Q61. 答え：副助詞「すら」（類推） 解説：「都の人でさえ驚く」。
- Q62. 答え：副助詞「さへ」（添加） 解説：「お方様、お目までも腫れていらっしゃる」。敬語連動。
- Q63. 答え：副助詞「だに」（最小限・願望） 解説：「せめて夢にだけでもお見え下さい」。下に命令形「給へ」、願望意。
- Q64. 答え：副助詞「すら」（類推、係り結び） 解説：「仏でさえ知らない」。「ぞ〜知らぬ」連体形係り結び。
- Q65. 答え：副助詞「さへ」（添加） 解説：「風が吹いて、波までも荒い」。
- Q66. 答え：副助詞「だに」（類推） 解説：「言葉さえ通じない」。
- Q67. 答え：副助詞「すら」（類推） 解説：「わが主君でさえ疑う」。
- Q68. 答え：副助詞「さへ」（添加） 解説：「古き道、跡までも消えた」。
- Q69. 答え：副助詞「だに」（最小限・願望） 解説：「せめて一目だけでもお見せください」。下に命令「給へ」、願望意。
- Q70. 答え：副助詞「すら」（類推） 解説：「賢人でさえ過つ、まして凡人は」。「すら〜いはむや…をや」の典型構文。
- Q71. 答え：副助詞「さへ」（添加） 解説：「お涙で、お袖までも濡らしておられる」。敬語連動。
- Q72. 答え：副助詞「だに」（最小限） 解説：「私の思いさえ告げずにしまった」。
- Q73. 答え：副助詞「すら」（類推） 解説：「帝でさえ御心が動かれる」。
- Q74. 答え：副助詞「さへ」（添加） 解説：「雨が降り、雪までも降って、寒い」。
- Q75. 答え：副助詞「だに」（最小限） 解説：「とてもはかない夢さえ見えない」。
- Q76. 答え：副助詞「すら」（類推） 解説：「草木でさえ情けを知る」。
- Q77. 答え：副助詞「さへ」（添加） 解説：「風が吹き、霧までも立った」。
- Q78. 答え：副助詞「だに」（最小限） 解説：「一句さえ詠まない」。
- Q79. 答え：副助詞「すら」（類推） 解説：「子供でさえ知っている」。
- Q80. 答え：副助詞「さへ」（添加） 解説：「お涙でお衣までも濡れるほどである」。敬語連動。

【第4部】入試レベル（Q81～Q100）

- Q81. 答え：副助詞「だに」（最小限・願望） 解説：「せめて夢にだけでも見えてほしいと祈る」。下に願望「む」。
- Q82. 答え：副助詞「すら」（類推） 解説：「親でさえ子に背かれる、まして他人は（なおさらだ）」。
- Q83. 答え：副助詞「さへ」（添加） 解説：「涙が涸れ、声までも涸れて、ものも言えない」。
- Q84. 答え：副助詞「だに」（最小限） 解説：「一日さえ忘れない」。
- Q85. 答え：副助詞「すら」（類推） 解説：「神でさえ心を動かす歌」。古今集仮名序を意識した表現。
- Q86. 答え：副助詞「さへ」（添加） 解説：「風に加えて、月の影までも好ましい」。
- Q87. 答え：副助詞「だに」（最小限・願望） 解説：「せめて我が身だけでも長らえば、なお世の中も見たい」。下に願望「ばや」。
- Q88. 答え：副助詞「すら」（類推） 解説：「中宮でさえ驚かれる」。最高敬語連動。
- Q89. 答え：副助詞「さへ」（添加） 解説：「雪が降って、霜までも深い」。
- Q90. 答え：副助詞「だに」（最小限） 解説：「夢さえもおぼつかない（夢でも会えそうにない）」。
- Q91. 答え：副助詞「すら」（類推） 解説：「鬼神でさえ稀にしか現れない」。

Q92. 答え：副助詞「さへ」（添加） **解説：**「お涙で、御簾までもしおれて」。

Q93. 答え：副助詞「だに」（最小限・願望） **解説：**「せめて影だけでも慕いたい」。下に願望「ばや」。

Q94. 答え：副助詞「すら」（類推、係り結び） **解説：**「私でさえこのように不思議である」。「ぞ～あやしき」連体形係り結び。

Q95. 答え：副助詞「さへ」（添加） **解説：**「川の音で、心までも澄む」。

Q96. 答え：副助詞「だに」（最小限） **解説：**「ひと目さえくれない」。

Q97. 答え：副助詞「すら」（類推） **解説：**「お目でさえくらまれる」。敬語連動。

Q98. 答え：副助詞「さへ」（添加） **解説：**「暑く、汗までも流れる」。

Q99. 答え：副助詞「だに」（最小限） **解説：**「一行さえ書けない」。

Q100. 答え：「すら」類推／「だに」類推／「さへ」添加 **解説：**「神でさえ恐れる世に、私でさえ迷う、心までも乱れる」。3副助詞の総合判別問題。